

平成 29 年 7 月

## 検体検査実施料新規収載のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび平成 29 年 6 月 30 日付厚生労働省保険局医療課長通知「保医発 0630 第 1 号」にて、下記項目の検体検査実施料が平成 29 年 7 月 1 日より新規適用されることとなりました。取り急ぎご案内致しますので、宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

( 記 )

### ■ 実施料が新設された項目

検査項目名	検査方法	実施料	判断区分 判断料	備考
D006-2 造血器腫瘍遺伝子検査				
EGFR 遺伝子検査(血漿)	リアルタイム PCR 法	2100	血液 125	※

※ ア EGFR 遺伝子検査(血漿)は、区分番号「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査の所定点数に準じて算定する。

イ 本検査は、肺癌の再発や増悪により、EGFR 遺伝子変異の 2 次的遺伝子変異が疑われ、再度治療法を選択する必要があり、血漿を用いてリアルタイム PCR 法で測定した場合に、患者 1 人につき 1 回に限り算定できる。ただし、本検査の実施は、医学的な理由により、肺癌の組織を検体として、区分番号「D004-2」悪性腫瘍組織検査の「1」悪性腫瘍遺伝子検査の「イ」EGFR 遺伝子検査(リアルタイム PCR 法)又は「ロ」EGFR 遺伝子検査(リアルタイム PCR 法以外)を行うことが困難な場合に限る。本検査の実施にあたっては、関連学会が定める実施指針を遵守すること。

ウ 本検査を実施した場合には、肺癌の組織を検体とした検査が実施困難である医学的な理由を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

エ 本検査、区分番号「D004-2」悪性腫瘍組織検査の「1」悪性腫瘍遺伝子検査、区分番号「D006-2」造血器腫瘍遺伝子検査又は区分番号「D006-6」免疫関連遺伝子再構成のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定する。

以上

No. 17-18